

令和5年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	9	議席 番号	2	氏名	若 林 志津子 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1				中学校制服の在り方と選択の幅を広げることや生徒の意見を聞くことについて	<p>(1) 中学校の制服の選択制について、平成31年2月定例会の一般質問で取り上げ、その後佐野寿夫議員の代表質問と、総務文教委員会では政策課題として検討され、提言も行われ、各中学校で制服の見直しが行われてきている。改めて制服の在り方について伺う。</p> <p>① 制服は何のためにあるのか。</p> <p>② スラックス導入の目的をどのように考え、保護者及び生徒にどのように伝えているのか。</p> <p>(2) 自由な選択との考えでキュロットの導入を提案するがいかがか。</p> <p>(3) 制服に対する生徒たちの意見は聞いているのか。学校給食のアンケートを取るときに、制服の在り方も含め保護者とともに答えるようなアンケートを行うよう提案するが、いかがか。</p>	教育長 関係部長
2				保育園、認定こども園及び小規模保育所における子どもへの対応で問題がある場合の把握及び要望並びに保育士配置基準の改善を求めることについて	<p>(1) 昨年、静岡県内の私立認可保育園で保育士による不適切な行為が発生した。その内容は報道でも明らかになっている。このような行動をする要因は何と考えているのか。</p> <p>(2) 市内保育園、認定こども園及び小規模保育所などの運営状況を日常的に把握している中で、要望は上がってきているのか。</p> <p>(3) 保育士不足の原因は、保育士の定員や仕事の内容に見合っていない給料の問題などがあるが、何年も変わっていない職員配置基準について、国は「従うべき基準であっても地方自治体がこれを上回る基準を定めることは可能である。」としている。そこで、公立保育所、私立保育所、認定こども園及び小規模保育所ごとの現在の配置基準と充足状況を伺う。また、職員配置人数を今以上に増やすことの改善を求めるがいかがか。</p>	市長 関係部長
3				福島第一原発事故の教訓を周知し生かしていく方法について及び吉田町民受入れの検討状況について	<p>政府は、福島第一原発事故から12年経過した中で、原発に対する方針を変えた。そのため現在、運転を休止している浜岡原発の状況も変わってくると考えられる。当市は浜岡原発から80km離れた場所に位置し、事故が発生すればあらゆる対応を迫られる。</p> <p>(1) 改めて原発に対する市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 原発事故による災害対応は、福島第一原発事故の教訓から素早い対応が求められる。また安全神話は崩れ、事故は起きると想定しなくてはならない。福島島の教訓を行政と市民に今後どのように周知し、生かしていくのか。</p> <p>(3) 浜岡原発で事故が発生した場合、吉田町民1万3,000人を受け入れることになっているが、その後の検討状況について伺う。</p>	市長 関係部長